２０１４－１５年度　職業奉仕セミナー報告

　開催日時　２０１４年１０月１８日(土)　午前１０時００分

開催場所　センシティタワー　２３階　東天紅

登録者数　１６７名

司会、卯田地区委員。はじめに地区委員の紹介、次にテーブルマスターの確認を行いセミナーを開始致しました。

委員長挨拶

本日のセミナーには、宇佐見ガバナー、関口パストガバナー、そして櫻木ガバナーエレクトのご参加をいただいての開催です。ありがとうございます。

さて本年、職業奉仕に関わるセミナーは初めてでございますが、４月２９日の地区研修・協議会での分科会の流れに沿う形で実施出来たらとの想いから、開催前よりテーマのご提案をさせていただき、皆様方に意見交換をしていただく。というスタイルとさせていただきました。しかし、ご提案させていただいたテーマはたたき台と思って頂き、内容について縛り付けるものではございませんので、各テーブルマスターを中心として、職業奉仕について、自由に且つ活発な話し合いをしていただきたいと思います。

　ロータリーとは、自らの職業を通した活動で、倫理運動に根差した地域社会への貢献が基本、との考え方から宇佐見ガバナーは、この委員会を独立した委員会として位置付けておられる事はご承知の通りです。

　この委員会の更なる活性化を図る意味に於いて、本日ご出席の皆様方の意見を集約し、より一層活発な活動が行えるよう努力したいと考えております

正しい営業活動を行えば必ず会社は再建できると信じて「四つのテスト」を示し、会社の業績を改善させた、ハーバート・テーラーの話も有名です。

それはロータリーが、入会した貴方に課した課題であり、ロータリアン人生を送っている間「四つのテスト」を尊重し、経営問題や人間関係、様々な局面に遭遇した時、解決或いは解決へと導く道しるべであると解釈して良いのではないかと考えます。

今回のセミナーを契機に、私どもの会だけではなく、地区全体が、今後一層盛んになる事を願うと共に、皆様のご活躍を祈念申し上げ挨拶と致します。

　宇佐見ガバナー挨拶

　意見交換の内容について地区より要望とお願い、西川地区委員から記録用紙の扱いについての説明をさせていただく。

協議事項

1. 職業奉仕委員会は何をする委員会？　考えて何が浮かんできますか、

・馴合いが重要。妾に居酒屋を経営させるのが職業奉仕と言った先輩が！

・異業種交流の自己研鑚の場、心を一つにして将来に対し、子供の為に。

・会員卓話⇒会員の長老に卓話があてられる傾向あり。

・職業奉仕が分かりにくい。難しい。第一線を退いた人にとって特に難しい。

・ロータリーを通して倫理観を高める。

・職業奉仕は、ロータリーの基本。

・セミナーで学び、社会への奉仕。スリランカで音楽を中心とした奉仕！これは国際奉仕？職業奉仕？

・自分の心を磨く場所であり、目指す方向を確立する。

・仕事を育てる

・異業種の連携をもって、ロータリーの職業奉仕を進める。

・ロータリーの根幹は職業奉仕である。

・松下幸之助氏の話。職業奉仕は社会貢献である。社会のニーズが自然と自らの仕事、職業に実りを齎す。ロータリークラブの職業奉仕と列なる考え。

・信頼感⇒あえてロータリークラブでしか出来ない事を考えて実施する。それがロータリークラブの信頼回復にも繋がると思う。

・職業奉仕というものが根にあるとしたら、Ｅクラブ、主婦も会員にという事への疑問が、信頼感の欠如として表れていく事ではないかと心配している。

・職業奉仕は、倫理学を伴う経営学ではないか。

・他の委員会とは違いを感じる。外向きの委員会、職業は内向きの委員会と理解している。

・職業奉仕は会員に対して委員会の在り方を周知する事で（個人の活動）組織的にする事ではない。

・職業奉仕委員会は職業活動を周知する事

・職業奉仕は個人の活動である。

・例会での職業について、奉仕についての会員卓話の機会を増やす。その際何のための卓話なのか。委員会が確認指導する。(全ての職業は有益である)

・会員間の仕事がもっと盛んになる事も視野に入れて。

・何をしたらわからない。職業分類の充実＝会員増強

・中学生対象の出前教室。１８の講義を一年に一度７校で実施＝社会奉仕？

・四大奉仕、五大奉仕の上にある委員会ではないか。会員数も少ないので職業奉仕委員会は設置していないが各会員が独自に職業を通して行う。

・職業奉仕はロータリー全ての基本である事を考える委員会とすべし。自分の生活の何をやっても職業奉仕であると考えている。利益集団にならないように活動する為の行動がとれるようにする為の委員会にする「ロータリー倫理委員会」とし、理念について追及する。他の委員会と同等としない。

・理念の中で自分の職業を通して何が出来るかを考える場が委員会である。

・地域経済が衰退してきているのでまた、異業種の団体なのでその職業を通じて活動している。職業の捉え方も昔風に考えるのではなく、もっと幅広く考えた方が良いのではないか。誕生会の時に職業情報を話している。

・日本人の従来持つ職人魂である技術、技を喜んでもらう。＝代償。奉仕とサービスを一緒にするのは難しい。利益に走ってしまってはいけない。

・立派なロータリアンとなる為の人格を形成する為の原点。「四つのテスト」綱領が全て。

・「私の職業奉仕」と題した卓話を行う。

・個々が考える力をつける。会員の卓話により奉仕をより一層考える時間を作る。

・地域に向けた奉仕（環境など、出前教室などで分かり合える様）

1. 職業奉仕の実際の展開方法は？　どうしたらいいと思いますか。

　・献血を３０年やっている。皆が一つの事をやり通す価値観、結束が必要。

・知的障害のある子供の施設にも訪問し、クリスマス例会に招待。

　・会員の健康診断⇒会員の経営する病院にて例会をしている。

　・職業で得た利益を社会に奉仕する。その根底となる「四つのテスト」を地で活けるような社会にしていく事が大切。

　・後継者の育成。

　・大所帯ではあるが、活動には真面目に取り組んでいる。

　・信用でビジネスが継続している。利幅を少なく、正直に商いをする。

　・顧客満足＝商売をしっかりやる「論語と算盤」自分の職業に徹する事。

　・障害者支援学校の支援で、就職支援受け入れ活動。

　・出前授業の活動を実施。

　・職業を一生懸命して、生活の安定を図る事が奉仕に繋がる。

　・自動車学校の休日を活用し、子供たちに交通ルールを学習させる活動。

　・仕事が上手く進んでいないと職業奉仕は出来ない。税を納めて社員が幸せに生活出来て、それを司るのがそれぞれの職業人の務めであり、それが職業奉仕となっていくと思う。

　・少年野球へのロータリー杯の授与。地域との関わりが大切である。

　・会員アンケート「少子高齢化の影響に関して」を実施、集計結果を例会で報告し、テーブルごとに意見交換をして貰った。

　・職業奉仕委員会として、優良企業の職場訪問と職業奉仕月間には、専門職の卓話を行っている。

　・職業奉仕は簡単に言って倫理・道徳ではないか。職業奉仕委員会としては会員に対する活動であって、対外的活動としては市民祭りに於ける無料相談と中学校への出前教室を行っている社会奉仕委員会の手伝いをしている。

　・月の第３例会日を職業奉仕の日として、会員卓話を行っている。

　・中学校で職業の話をしているが、それは職業奉仕とは違う。

　・今月は職業奉仕月間。テーマを設け職業奉仕について討論をしている。

　・職業がそれぞれ違うので、各自で経営を頑張る事。

　・自分の会社はきちっとした仕事をする。

　・経営学の中に「四つのテスト」を入れるというのは共通して出来る。

　・職業を信じて会社を大きくし、雇用を増やす。

　・会社が儲けて税金を払うのも職業奉仕だと思う。

　・職場見学も大事だが、経営哲学が重要。

　・例会を行っている事＝職業奉仕

　・クラブ職業奉仕委員長の卓話。「四つのテスト」の唱和。

　・ロータリー以外の方の職業について、職場見学、職業奉仕の記事を週報への掲載。

　・仕事を理解いただくための卓話の実施。

　・永年勤続表彰やイベントへの参加依頼。

　・職場訪問と体験会。

　・ロータリアン以外の方の卓話の実施。

　・菓子作り。技術を磨き良い菓子を作る⇒職業奉仕？

　・ロータリーデーに無料相談会⇒社会奉仕？

　・出前教室は、職業？　社会？　社会奉仕になると考える。

　・利益を上げて一部を社会に！

　・防犯カメラ…事務所の前にカメラを設置、事件解決に繋がった。

　・会員が地域奉仕をし、特別活動をしている訳ではないが、職場訪問を実施。

　・地域経済の衰退、異業種団体なので職業を通じ活動。職業の捉え方も昔風でなく幅広く考えるべき。誕生会のスピーチで職業についても話している。

　　仕事を通して社会奉仕をしているので、改めてどうこう思わない。

　・職業奉仕は、個人単位で行われるべきと思う。

　・理念を大事に話し合う。或いはどのように展開出来るかを考える会とする。

　・スーパーを経営。利益を出す事しか考えていなかった。少しずつゆとりが取れるようになり、包丁の使い方等、教える事も出来てきた。

　・他の委員会のチェック機能を持たせる。

　・各会員が地域奉仕をし、特に活動をしているわけではなく、職場訪問をしている。

　・各会員は、仕事を通じ社会奉仕をしているので改めてはどうか。

　・会員の職場訪問をし、優秀な社員を表彰している。

　・顧客へのサービス、社員。納税などについて、クラブ内でディスカッションを実施している。

　・社会奉仕と職業奉仕の線引きはできない。

　・職業奉仕とは、繁盛するための秘訣。しっかり結んで体得する事。

　・社会貢献は当たり前の事。会員卓話で職業について話し合い、参考にする事で自己研鑚する。各職業に於いて理念として継続性を持つ事が大切。

　・例会が道場である。「四つのテスト」奉仕の理想を実践する事で自身の活動を見つめ直す場面としている。売り手よし。買い手よし。社会良しの三方よしの精神を実践している。

　・歯科医になりたくてなったので利益は二の次と考えているが、ある程度の利益がないといけない。異業種の方々の利益の出し方のハードルが違うと思うので、みんなと話をして勉強になる。

　・ＣＬＰを実施している為奉仕委員会の下に職業奉仕委員会がある。従って名前がしっくりこない。健全な経営は当たり前で理論付が出来た。会長年度に「四つのテスト」の額を全員に配った。

　・私の職業奉仕とした冊子の作成を行った。

　・以前は主として倫理について研修を行った。

　・職場訪問後の意見交換をし、各職業の理解を深め、会員間の意見を参考に自身の仕事の繁栄に結び付けている。仕事の意義を従業員にも理解させ、働き甲斐を持たせている。

　・社会奉仕との区別が難しいが、小中学生に職業体験をして貰った。

　・各年度の委員長次第と思っている。

　・社会奉仕との一線を引かない。職業体験を通して仕事を理解、知るきっかけを作ってあげる事が自分の仕事のやりがいにも。

　・自分自身を磨く⇒「四つのテスト」は自分をみつめる事が出来る。真面目な仕事。私見を広げる事で自分自身の成長に繋がる。

　・自分の仕事に誠実に務める。⇒昔からの日本人らしい

1. 貴方にとって職業奉仕委員会は必要だと思いますか。

・意見ある委員会

・先輩から職業奉仕委員長が一番勉強になると勧められた。

・継続するには地域の理解を必要とする。クラブの結束が最重要⇒倫理観を高める

　・委員会は必要か？中心に提議する。ＣＬＰの導入。

　・ロータリー入会の動機となっている。ビジネスとは違う広い意味で委員会は必要。

　・委員会は必要。倫理観を大切にしたい。

　・職業奉仕は永遠に疑問、ロータリーの疑問と考えている。仕事を頑張りたい。

　・現在の各クラブロータリアンに入会時期の違う考えをどのように伝えるのかが一番考えさせられるが、現在の職業奉仕委員会が必要なのかとか、委員会は何をするのかという題は、委員会の皆さんの活動しようとする考えを伺えたらと思う。ロータリアンとして、入会するにあたり職業奉仕としての考え方に惹かれて入会している人たちが多いため、無くすことは出来ないと思う。

　・職業と社会との違いがわからない。最近ロータリーの本質が変わった気がする(会員の品格)。職業奉仕委員会はあった方が良い。

　・職業奉仕委員会は必要と思う。会社が上手くいかないと社会奉仕等、出来なくなる。

　・各自の職業により考え方や会社規模等違うため、各自で！

　・委員会の存在は当然と考えるが、しかし、何をするか？

　・職業奉仕は基本。個人の職業の役立てるもの。基本であると言い続ける委員会

　・委員会は必要ない。それぞれの人が意識的に持っているものがあれば良い。

　・職業を通して奉仕を考える。（世の為に何をするか）の為の委員会であり、委員会がないと考えなくなってしまう。

　・理念として捉える場。委員会は必要。

　・全ての委員会が職業奉仕を行っているので、必要があるでしょうか。

　・職業奉仕委員会は必要。

　・意味を研究し協議する事という意味で必要である。

　・職業奉仕委員会は活動する委員会ではなく、みんなで議論、協議する委員会であって、その中で生まれる言葉や思い、行動がロータリアンとしての人格形成の基となる為、必要な委員会である。

　・ロータリー成立の原点は異業種⇒ロータリーを職業に利用は当然。利益を奉仕に使う。委員会は当然必要。

　・委員会は必要か。原点とあれば今更の想い。委員会ではなく個々？良くわからない。仕事を通して社会に貢献すると教わった。職業奉仕無くしてロータリーとは言えない

　・昨今の職業人でなく入会できるという状況はどう対処すべきか。何を考えているか？と思う。

　・仕事だけのために入会する方もいる。仕事も親睦という事で考えている。

　　１９０５年シカゴ、世の中の乱れ、信頼、結束、職業倫理は大切。職業奉仕はロータリー特有、理論付の為に、またクラブのでの職業奉仕企画がなくなってしまうので委員会は必要。

　・多くを学ぶ場となるので必要と思う。

　以上、３項目の事項について、各会員より様々な意見を聞くことが出来ました。

ロータリーの会員は、毎日が職業奉仕をしている者の集まり、社会奉仕の根底にあるものが職業奉仕(倫理や道徳)。職業奉仕で得た利益を社会奉仕に役立てる。

社会奉仕は、自らの職業(職業を通して)と互いを馴染ませたものだと思います。職業奉仕を理解するために心に留めておくべき事は、ロータリー運動は、実は倫理運動であると言う事です。ロータリークラブは寄付団体でも慈善団体でも、またボランティア団体でもなく、ロータリーは社交クラブとしてロータリアンに奉仕の心を育て、世の中に倫理を提唱していくべき使命を持った団体である言われています。

　ロータリーの本願は、タバコの吸い殻を捨てない人を育てるところにあります。職業奉仕とは、個人の職業についての意見を自由に述べて貰う、ロータリーだけのものです。利潤の追求と高い倫理観が必要だと考えています。無償の場合は社会奉仕、職業奉仕委員会はほぼ全員が必要との結論を出してよいと判断致します。更に以下のようなご意見も頂きましたのでご紹介させていただき、まとめと致します。

・ロータリーで仕事の話はあまりしない。してはいけないと考えていたが、角度を変えて過去にある一業種一人と決められていたのは何故か。クラブの中に同じ商売をしている方がいるといろいろな意味でよろしくない。裏を返せば、一業種一人はクラブ内で商売を禁止しているのではなく、奨励しているとも考えられる。

・例会は、異業種の方から色々な知恵を頂ける。また、色々な方に知恵を提供する場でもある。

・企業は収益を上げ税金を納める。それをバックアップするのがロータリーの職業奉仕。

・職業奉仕はロータリーの精神であり、各会員は日常の職業を通じて実践しており、改めて委員会が必要なのかという意見があった。

・ある会社の社是（真面目な製造・真面目な販売・真面目な経営）分かり易くロータリーの職業奉仕では？

・職業を通して社会の手本になるような人格者になる事。　以上

正に人を育て、道徳を守る人間を作る事。その事によって、世の為人の為に動く。これこそがロータリーの倫理運動を意味するものと信じています。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。最後に、各クラブの今後ますますのご発展を祈念申し上げます

　　　　

　　　　

　　　　　